

為せば成る

校長 野上 浩資

弥生を迎え、日ごとに春の温かさを感じる天候の下、3月10日に、令和7年度第43回卒業式を執り行いました。卒業証書授与の後、校長式辞として以下の話をしました。

『卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。』

今年度、飯山満中学校が、活気と落ち着きのめりはりがあり、全校が充実した毎日をご過ごせることができたのは、最上級生として飯山満中学校の歴史を立派に紡いできた、皆さん一人一人の心がけと行動のおかげです。その姿は、下級生の目にもしっかりと焼き付けられ、大きな目標として受け継がれていくことでしょう。また皆さんは、飯山満中学校で過ごし、学んだ三年間で、課題を見つけ自ら解決する力、他者と認め合い協力し課題に取り組む力、よりよい自分であるために努力する力、つまり「未来を創る力」をしっかりと身につけました。そして、これこそが校歌にも歌われ、脈々と受け継がれてきた「生き抜く力」に、ほかなりません。この力を成長の源にして、いろいろなことに挑戦し、これからの人生を自分らしく歩んでください。

そんな皆さんに卒業の餞として、この言葉を送ります。「為せば成る」。これは、江戸時代の名君として知られる 上杉鷹山 の言葉です。強い志を持ち、あきらめずに努力を重ねれば、道は必ず開けるという教えです。皆さんには繰り返し、「希望の登校、満足の下校」ができる学校にしていきましょう。と言ってきました。皆さんは三年間、希望を胸に登校し、一日一日を懸命に過ごし、満足の下校を積み重ねてきました。これから皆さんは、それぞれ新しい道へと進みます。思い通りにいかないこともあるでしょう。不安に心が揺れる日もあるかもしれません。そんなときこそこの言葉「為せば成る」を思い出してください。どうかこれからも、「希望」をもって一日を始め、「努力」によって「満足」を積み重ねてください。その先に、皆さん一人ひとりの未来が輝いていることを、私は信じています。』

そのほか、それぞれの思いがあふれる答辞や送辞、在校生の「旅立ちの日に」、卒業生の「群青」、式を締めくくる「大地讃頌」の響きなど、どの合唱も思いがこもった卒業生の旅立ちを飾るにふさわしいものとなりました。

本年度も、残すところあと1週間となりました。保護者の皆様に、日頃から学校へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も、職員が一丸となって教育活動に一層邁進してまいりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

【2月21日（土）共同奉仕作業】

8時30分から10時までの短い時間でしたが、中庭の花壇への花植えと、校庭や給食室周り、体育館裏の草取りを行いました。市民の会や応援隊、学校開放団体の方、PTA本部とお手伝い係、部活動生徒、学校職員が集まり、約90名の参加がありました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。今後も地域と学校が交流できる場を設けて、地域の中にある学校として、ともに活動していきたいと思えます。

〔花壇〕



〔校庭〕



〔給食室〕



〔体育館裏〕



【2月27日（金）三年生を送る会】

生徒会本部役員及び実行委員会を中心に、全体シナリオを「思い出島の宝探し」、1年生はテーマを「青春、仲間との絆」、2年生はテーマを「懐かしさ、希望」として、在校生が3年生の感謝への気持ちを劇や合唱で表しました。ダンスと音楽で華やかな入場で始まり、1、2年生の発表の後、3年生からお礼の言葉と合唱が贈られました。懐かしさと楽しさが合わさった心に残る会となりました。

〔招待状〕



〔入場〕



〔1年生〕



〔2年生〕



〔3年生〕



〔装飾〕



【3月10日（火）第43回卒業式】



タイトル「未来」 卒業生の未来が輝かしい日々になりますようお願いを込めて！

市民の会から岡本太郎賞を受賞した仲村浩一（なかむらひろかず）氏に依頼し、寄贈していただいた絵になります。

光り輝く太陽の中、飯山満の町を見ている生徒の姿がとても感慨深いです。

お知らせコーナー

〔令和8年度（2026年度）家庭教育相談のご案内〕

船橋市教育委員会では、お子様（幼児～おおむね18歳）の家庭での教育やしつけ、家族関係や学校生活に関する相談をお受けしています。家庭教育指導員・社会教育指導員が電話や面接（月2回）により相談に応じています。

【電話相談・面接相談(予約)連絡先】

船橋市教育委員会 生涯学習部 青少年課

電話：047-436-2897 受付：月曜日～金曜



▲面接日程はこちら

家庭教育相談のご案内 URL

<https://drive.google.com/file/d/1w0x5bYmdl7LHbbdT-CqG18XPNnhr68uR/view?usp=sharing>